



あし さと
葦の里
賢く 優しく たくましく

No.11

嬉野市立吉田中学校
令和3年9月1日
文責：校長 桑原智仁

～地域とともに9カ年の学びのなかで～

9月になりました！

蝉の鳴き声もアブラゼミやクマゼミの大合唱から、ツクツクボウシの鳴き声に変わり、夏の終わりを告げようとしています。

二学期制の嬉野市では、既に1学期後半がスタートしていますが、三学期制の学校では、今日が始業式です。登校して来る子どもたちを見ると、元気良く登校する子、同じペースで登校する子、朝起きるのが苦手そうな子、好不調の波がある子など、毎朝いろいろな姿を見ることができます。35日間の夏休み期間中、ゲームに夢中になり、昼夜逆転してしまった人が何人もいます。宿題を終わらせることができず、何となく学校に行きたくないと感じている人も少なからずいます。

吉田地区の9月1日の日の出の時刻は5:54、日の入りの時刻は18:45です。これからはしばらくの間、日の出はおよそ2日で1分ずつ遅くなり、日の入りはおよそ1日に1分ずつ早くなります。

日光は、生活リズムを整える上でとても大切です。これを機会に生活リズムをリセットしてほしいと思います。これから涼しくなりますので勉強にも集中しやすい時期となり、まさに「実りの秋」を迎えます。



百年桜

不織布マスク > 布マスク > ウレタンマスク

ウイルスに対するマスクの効果を表したものです。不織布マスクが飛沫を防ぐ効果が一番で、布マスク、ウレタンマスクの順に効果は落ちていくそうです。特に授業や会議など人の距離が近く、声を発する機会が多い活動では不織布マスクを着用することが感染症予防対策には有効とのこと。着用の仕方としては、隙間を作らず、鼻までしっかりと覆い、顔に密着させることが大切です。発言する時にあごマスクにすると全く意味がありません。大丈夫でしょうか。

今更ながらですが・・・マスクには表・裏があります。不織布マスクでは折り目がついていますが、ゴミやほこりがたまらないように、折り目が下向きになる面を外側にするのが正しい着用の仕方です。



新型コロナウイルスのワクチン接種について

嬉野市でも12歳以上の児童生徒を対象にワクチン接種が始まりました。ワクチン接種券が各家庭に届いているかと思しますので、各家庭や個人の状況に応じてご活用ください。打つ打たないは個人の判断です。

中学生がワクチンを接種する場合には、必ず保護者同伴となります。接種する日は、出席停止扱いとなります(欠席にはなりません)ので、学校にご連絡ください。

また、接種後の副反応による発熱等の症状が見られた場合も出席停止扱いとなります。無理をせず、ゆっくり休養させてください。

新型コロナウイルス感染症に対する誹謗・中傷

「ワクチン打った?」「打ったよ。あの人はまだのごたつよ。」「え～恐かね～」何気ない会話ですが、会話が進むうちにワクチンを打っていないことが悪いような印象が変わっています。これが、誹謗・中傷の始まりです。様々な事情でワクチン接種ができない人もいます。ではどうすればいいか。「ワクチン打った?」と最初の一言を発しないことです。お互いのために大切なことだと思います。

親しい人にLINEやメールで陽性者が出た学校や陽性者の名前を送信することも誹謗・中傷の始まりです。不安な気持ちはわかりますが、情報を拡散するのは問題です。気を付けましょう。

部活動は9月12日（日）まで中止します！

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、部活動は全県的に9月12日（日）まで中止します。社会体育活動も同様に9月12日（日）まで中止となります。緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が出されている期間と合わせて設定されています。

各部活動とも夏休みに積み上げてきたものがあるかと思いますが、仕方ありません。今こそ、各個人が自分にできることを「考えて」自主トレなど行動に移すことが求められています。

全国学力・学習状況調査の結果について

5月に行われた全国学力・学習状況調査（3年生対象：国語・数学）の結果が昨日公表されました。

佐賀県平均は、全国平均を下回ったということですが、吉田中学校は、国語、数学ともに全国平均を上回る結果でした。

国語は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の4つの分野で分析されており、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」では全国平均を大きく上回りましたが、「読むこと」が全国平均よりも低い結果となりました。「論理的に読み取る力」を身に付けることが課題として上げられます。日々の読書や新聞を読むことなどを通して「読み取る力」を高めてほしいと思います。

数学は、「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の4分野の結果、全ての分野で全国平均を大きく上回る結果でした。

公表された結果は、学校の平均値です。全国平均を上回るのは素晴らしいと思います。しかし、個別に見るとそれぞれに課題があります。全国平均と比較して自分はどの位置にいるのかを確認し、今後の学習の意欲につなげてくれたらと思います。

期末テストが始まります！

9月15日（水）から17日（金）まで、1学期期末テストがあります。そのため9月16日（木）まで、部活動は中止となります。

夏休み明けの長い部活動中止期間となりますので、この機会にしっかりと計画を立てて、いつも以上に家庭学習に取り組んでほしいと思います。

子ども「ゆめ花火」

先日も文書とマチコミでお知らせしましたが、吉田地区地域コミュニティから「花火セット」を各家庭にいただきました。色々な行事が中止となる中、「淋しい夏を過ごした子どもたちに何とか楽しみを！」という思いです。楽しんでいただけましたか？

今年の夏は、35℃を超える猛暑となったり、降り始めからの雨量が1,000mmを超える大雨が続いたり、新型コロナウイルス感染症が爆発的に増加したりと、自然の猛威にさらされた夏でしたが、花火の光のように新たな光が見いだせたらと考えています。



「安心・安全」と「不安・危険」

「安心」の対義語は「不安」、 「安全」の対義語は「危険」。オリンピック開催前から大会期間中、盛んに使われた「安心・安全」という言葉。メディアでも「安心・安全」という活字が踊りましたが、最近は「不安」という言葉がやたらと目につくようになりました。

今朝の新聞には、「不安と制約、学校工夫 佐賀市の小中で新学期」「休校で勉強不安 県内小中学生 50%超」という見出しが同じページにありました。学校に行くのが不安、かといって休校になると勉強が遅れて不安。「不安」という言葉を並べ立て、世の中の不安を煽っているかのようです。

「感染症予防対策万全に新学期！」「休校でもリモート授業で安心！」と書けないものか？

学校では、考えられる感染症予防対策を徹底しています。行事の延期や部活動中止は危険な可能性を少しでも取り除くための措置です。このようにして、感染リスクと向き合いながら、生徒も保護者も安心して学校生活を送れる工夫をしながら学校本来の目的である「学び」を止めないよう教育活動を行っています。